

# 浜松の地域資源や雇用を守るため

## 『ぬくもりの森』のM&Aを支援

公認会計士大川原正記事務所・(株)OSPトランザクションサービスは、静岡銀行と連携し、(株)Re・lazio(高橋秀幸社長)と(株)ぬくもり工房の事業承継型M&Aを支援した。

浜松市の『ぬくもりの森』は、(株)ぬくもり工房の前社長で昨年7月に亡くなった建築家の佐々木茂良氏が手がけた独特の建築施設だ。絵本に出てくるような心温まる世界観に魅了される人は多く、敷地内のレストランやカフェ、店舗、ギャラリーなども賑わいを見せており、年間13万人超が訪れている。58歳という若さで急逝した佐々木氏の後を継いだ妻の由佳さんは、「自主的に事業継続したいという思いは強かったが、建築業という専門的な知識や技術が求められる点で不安だった」という。

相談を受けたメインバンクの静岡銀行は『ぬくもりの森』の維持と活用が(株)ぬくもり工房の経営面や浜松の地域創生面で重要と考え、提携企業を模索。経営手腕に定評があり、地域での人望も厚い(株)Re・lazioの高橋社長にM&Aを打診した。そして、M&A実務のサポートとして、企業提携における契約の取りま

とめや企業評価、買収条件交渉、従業員への説明については大川原氏が担当した。大川原氏は、「各種調査や契約交渉では難局も多々ありましたが、何とか無事完了し地域貢献や雇用確保につながり安堵しています」と振り返る。

さらに静岡県の中小企業の事業承継については「今回の案件のように、雇用の維持や取引先企業の経営への影響を最小限に抑えてM&Aを進めるには、専門家とマッチングを行う金融機関が連携を深めていくことも必要。このような支援を増やすことで、静岡の企業が持つ経営資源を守ることが必要な時代になってきたのではないかと思います」と話す。

●問い合わせ、054・685・0612



大川原公認会計士